

## 「真理のために共に働く」

2018年08月16日

ヨハネの手紙 三 1節～8節 長老のわたしから、愛するガイオへ。わたしは、あなたを真に愛しています。愛する者よ、あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ、健康であるようにと祈っています。兄弟たちが来ては、あなたが真理に歩んでいることを証ししてくれるので、わたしは非常に喜んでいます。実際、あなたは真理に歩んでいるのです。自分の子供たちが真理に歩んでいると聞くほど、うれしいことはありません。

愛する者よ、あなたは、兄弟たち、それも、よそから来た人たちのために誠意をもって尽くしています。彼らは教会であなたの愛を証ししました。どうか、神に喜ばれるように、彼らを送り出してください。この人たちは、御名のために旅に出た人で、異邦人からは何ももらっていません。だから、わたしたちはこのような人たちを助けるべきです。そうすれば、真理のために共に働く者となるのです。

ヨハネ（三）も「長老のわたしから」と書き出して、同じ著者であると示している。宛先は「愛するガイオへ」となっている。ガイオという名は、新約聖書に3回、書かれている。①使徒言行録19章29節の「パウロの同行者であるマケドニア人ガイオ」、②ローマ書16章23節の「わたしとこちらの教会全体が世話になっている家の主人ガイオ」、③コリント（一）1章14節の「クリスポとガイオ以外に、あなたがたのだれにも洗礼を授けなかった」。これらの記述から、ガイオはマケドニア人で、パウロから洗礼を受け、パウロの宣教旅行に同行し、信徒の家で持たれていた多くの教会を支援した人である。この人は確かに存在した。しかし、ヨハネ（三）が書かれたのは、2世紀に入った頃で、パウロと親交のあったガイオは、もはや生きてはいない。ガイオという名は、一般的な名前前で、彼は別人で、「ヨハネ教団」の伝統に従って、家の教会を熱心に指導した人物であろう。

長老はガイオに、「わたしは、あなたを真に愛しています。愛する者よ、あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ、健康であるようにと祈っています」と、愛を伝え、魂や全ての面で恵まれ、健康であるようにと祈っている。そして、兄弟たちから、あなたが真理に歩んでいることを聞かされ、私は非常に喜んでいて、実際、あなたは真理を歩んでおり、自分の子どもたちが真理を歩んでいると聞くことほど、嬉しいことはない。長老は、教え子であるガイオが固い信仰に立ち、また、ガイオの教え子たちも、神の恵みを証しする生活をしていると聞いて心から喜んでいて。

長老は、「愛する者よ」と親しく呼びかけ、「あなたは、兄弟たち、それも、よそから来た人たちのために誠意をもって尽くしています」と、ガイオが人を分け隔てせず、誠意をもって尽くしていることに感謝している。ガイオから信仰を学んだ兄弟たちも諸教会の間で主イエスの愛を証ししている。長老は、「どうか、神に喜ばれるように、彼らを送り出してください」と、ガイオから信仰の訓練を受けた人たちを、主イエスの御名のために、宣教に送り出してくださいと勧めている。彼らは、宣教の対象地の人たちからは経済的・物質的援助は受けない節度を守っている。（パウロは最前線の宣教地からの謝礼は受けないことを誇りにしていた。）この節度を守っている彼らこそ、支援すべき人々である。彼らを支援すれば、主イエスが示してくださった福音の真理のために、私たちは共に働く者となることができる。古代教会は宣教に熱心であったことが分かる。